

アズマ

よろろず相談でサポート

付属販売のアズマは、見た目がズレる要因やメ縫製工場での3D活用の提案、縫製よろろず相談などを行う。東京の本社に開設している「アズマ・ソーイング・コネクション(ASC)」の顧問を務める「現代の名工」稲荷田征氏が実演を交えて技術提案する。

縫製よろろず相談では、

①山ハギと身頃縫い(地の目違い)のパツカリン
②ラグラン袖付
③アイロンの基本操作、アタリ対策など——を実演。来場者からの質問にも答え、現場の改善の糸口を見出すお手伝いをする。

3D活用では、3D着装シミュレーションシステム「CLOエンタープライズ」を活用し、袖付け時に起きやすい左右の注文服と既製服を融合



リーパターンも発売する
(3面参照)。

また、人材確保に向けた情報発信として、技能実習生制度の概略説明や、「キンバ・サステナブル・アクション」を通じた産学連携、日本アパレルソーイング工業組合連合会が開発した「ACCCT」による加工賃算出、経理業務のアウトソーシングとインボイス制度の対応などを提案する。

好評だった3D活用や縫製よろろず相談(昨年の東北アパレル産業機器展)